

- ◆ 求む！ 教えない教師
- ◆ 「夢の大学」をつくる

i…………宇宙の聖職者たち

47

2 ●物理学の法王

49

- ◆ アインシュタインに会いたい！
- ◆ 宇宙を予言する、世界的アイドル
- ◆ 神が住む、アインシュタインが住む
- ◆ 量子論に異議あり
- ◆ かくして「学者天国」がはじまった
- ◆ ニールス・ボーア逆上する
- ◆ 「プリンストン強制収容所」
- ◆ 教授会の叛乱……〈第一ラウンド〉
- ◆ 大いなる野望「統一場理論」
- ◆ 今は「光」につつまれて

〈下巻〉 目次

iii 洞察の極限

7 ●泡の宇宙にわく

- ◆ 研究所でグルメ。集めたワインは五〇〇〇本！
- ◆ 天体物理ギヤングどもの四月馬鹿エイプリルフール
- ◆ メインディッシュは「新発見」

■
アインシュタインの部屋

Who Got Einstein's Office?

*Eccentricity and Genius at the Institute for Advanced Study
by Ed Regis*

上巻

目次

序文◎小平邦彦

4

まえがき

13

0……プロローグ

17

1◎プラトニック天国

19

◆知的エデンの園、あるいは「インテリのホテル」

◆デパート王とプラトニックがルーツ

◆素数のリズムに乗って

◆数学界のいたずら者アンドレ・ヴェイユ

◆超越数に魅せられて——ロブ・タツブスとの問答

◆フランクタル幾何学の可能性

◆「サンマルコの龍」——プラトニック天国の原風景

ii …… 異端者たち

207

5 ●愉快なジヨニー

209

◆プリンストン・カジノ実験室

◆ジヨニーは、パーティの大天才

◆超頭脳氏、電子頭脳に会う

◆プラトニック天国異変

◆教授会の逆襲

◆ロスアラモスのET談義

◆オートマトンを超えて「自然のソフトウェア」

iv 生命、宇宙、よろずのもの

10 ●自然自身のソフトウェア

◆「複雑さ」が問題だ

◆五歳で論文、二〇歳でキヤルテク博士

◆「ライズ」ゲームに夢中！

◆モスキト島で目惚れ

◆プリンストン・セル・オートマトン工場

◆宇宙のソフトウェア

◆いっそ自分で……へ複素システム研究センター設立

◆究極のコンプレックス・システム

11 ●見えないものを超えて

◆第一のアインシュタイン？ 超弦理論の旗手エド・ウィッテン

◆物理学者でない人のための簡単な弦理論

◆世界はひもでできている

◆「ベネチアーノ方程式」にはじまる

◆二六を九に、九を二に、次元を減らすノウハウ

◆無限から無限を引く「くりこみ不可能な無限」

◆「カイラリティ」て何？

◆超弦理論、異常なし

◆宇宙定数の謎をとく

◆方程式から概念へ

◆大統一理論への道

◎いと高き神秘の支配者

- ◆ アリストテレス、アインシュタイン、そして
- ◆ 地下室のゲーデル探し
- ◆ 孤独なプラトニック天国の王さま
- ◆ 地上に降りた数学の神
- ◆ 「なぜなぜ君」はヒポコンブリーデバックルの天才
- ◆ おそろるべし「ゲーデル崩壊」
- ◆ 知られざるクルテールの恋
- ◆ 世間知らずの親友にアインシュタインあせる
- ◆ 数学のイガ栗？連続体の命題
- ◆ ゲーデルとアインシュタイン
- ◆ 沈黙とゲーデル、そして数の王国
- ◆ ゲーデルの死
- ◆ 書類の山に生きる

◎見よ、この形を

- ◆ コンピュータに宿る数学の宇宙

8◎光を掲げて進む

- ◆ 星を生む分子雲の不思議を探る
- ◆ ピエト・ハットの太子言—死の星「ネメシス」
- ◆ マーガレット・ゲラー女史を迎えて
- ◆ 宇宙はシャボン玉

◆ 空っぽの原子たち。物質はなぜ固い？

◆ マルチ人間フリーマン・ダイソン

◆ 水爆ロケットで土星に行こう！「オリオン計画」顛末記

◆ 「こりやあむずかしいぞ」とフランク・ヤンが叫んだ

◆ だんまり屋、ディラックの愉しみ

◆ アインシュタインも舌鋒の餌食、大自信家、パウリ

◆ 方程式、方程式、方程式

◆ 「理論物理学者」という仕事

◆ 研究所VS大学、プリンストンの熱き戦い

◆ 教授会の叛乱……（第3ラウンド）

9◎真理とは何か？

◆ 「ビッグバン」は爆発的ミステリー

◆ 「科学革命の構造」ショック

◆ 色眼鏡がなんだ、それでも真理はある

◆ ニュートリノ捕獲大作戦

◆ ライプニッツからダイソンまで、科学者たちの哲学観

◆ 懲りない科学者たち

- ◆「私は今こそ死となり、世界の破壊者になり変わった」
- ◆〈原爆の父〉と呼ばれた男
- ◆教授会の叛乱……〈第2ラウンド〉
- ◆ニムニムニムボーイズが行く
- ◆オツピー、ブラックホールを予言する
- ◆パウリかオツペンハイマーかそれが問題だ
- ◆ロスアラモス所長の天下り
- ◆右手に国家機密、左手に研究所
- ◆失意のオツペンハイマー

V エピローグ

12 ●おもちゃの国の子どもたち

- ◆老教授の一日
- ◆高等学術研究所はプラスかマイナスか？
- ◆「水の上は歩けない」
- ◆マンデルブロを教授に任命しないわけ
- ◆「博士号を出せ」老教授の提言
- ◆研究所の歴史は語られない
- ◆ビアトリス・M・スターンの失敗
- ◆「もっと気狂いじみた連中がほしい」
- ◆大ノイゲバウアーのいる午後

謝辞

付記：マンデルブロ集合とセル・オートマトンのための

コンピュータプログラム

参考文献

人名索引

訳者あとがき

著者紹介／訳者紹介